



学校だより 6月号

令和8年5月29日発行

ふるさとに学び ふるさとで遊び ふるさとを愛する子 ～ふれあいがやき豊かな心～

学びをつなぎ、未来をひらく

副校長 飯島 里香

6月を迎え、校庭の木々の緑がいつそう鮮やかになってまいりました。学校では早2か月が過ぎ、それぞれの学年が充実した学校生活を送りながら、新しい学習にも意欲的に挑戦しています。また、遠足や宿泊体験学習、修学旅行といった行事にも力を注ぐ姿を見せ、梅雨空を吹き飛ばすような明るく頼もしい日々を過ごしております。

先日、私が引率いたしました5年生の高尾宿泊体験学習では、学校行事が子どもたちの成長にとって大変大きな役割を果たしていることを、改めて実感いたしました。宿泊先では、一人ひとりが約束や時間を意識して行動することで、友達との部屋での生活を楽しく、気持ちよく過ごすことができました。また、集団で約束を守ることが、自分自身や仲間の安全につながることに気付く姿が見られました。

さらに、仲間と力を合わせて森を守る活動に取り組んだり、キャンプファイヤーをみんなで盛り上げようと協力したりする中で、「みんなで取り組むことのよさ」や「仲間と活動する楽しさ」を実感することができました。活動後には、「学校に戻ってからも、友達と協力することや、自分から進んで行動することを大切にしたい」といった声も聞かれ、体験を通して学んだことを今後の学校生活へ生かそうとする気持ちが育まれていることを、大変うれしく感じました。

このように、本校では体験を通した学びや、人との関わりの中で学びを深めることを大切にしております。そして今年度は、こうした学びをさらに豊かなものにするため、横浜市より「生成 AI パイロット校」の指定を受け、生成 AI を活用した学習について研究を進めてまいります。生成 AI は、昨今さまざまな場面で話題となっている分野であり、その有用性が期待される一方で、課題や留意点についても広く議論されております。

そのような中、本校では、AIと学習をどのように結び付けることで、子どもたち一人ひとりの学びをより豊かなものにできるかを探ってまいります。自分の考えをさらに深めたり、思いや考えをより効果的に表現したりすることなどを目指し、授業の中で活用の可能性を検討してまいります。

一方で、鴨志田緑小学校がこれまで大切にしてきた、「自分で考えること」「友達と関わりながら学ぶこと」「体験を通して学ぶこと」といった学習への姿勢を、今後も変わらず大事にしていまいります。その上で、子どもたちにとってどのような取り入れ方が望ましいのか、研究と実践を重ねていきたいと考えております。

また、教職員におきましても、校務の効率化や教材研究等への活用について試行錯誤を重ねながら、子どもたちと同じように学びを深めてまいります。今後も、安全面や情報モラルに十分配慮しながら、時代に応じた教育活動の充実に努めてまいります。

これから梅雨の時期を迎えますが、子どもたちが日々の学習や学校生活の中で、一つひとつの経験を力に変えながら安心して成長していけるよう、教職員一同努めてまいります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



*今回のイメージ図には生成 AI を利用してみました。

番外編



素敵な荷物整理！5年高尾



★★★★